

報 いずみ

発行所 野郡 大野郡 泉井村 公民館

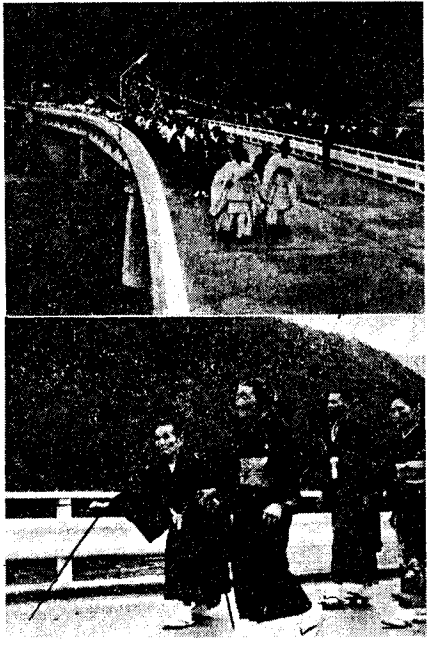
印刷所 松浦印刷所

9月23日は農業委員選挙

九月二十三日は農業委員会委員選挙
 九月十八日水(五)投票所の告示、選挙管理委員会は八月二十二日役場に於いて開催し、次の事務日程を決定しました。
 選挙期日
 九月十九日(四)立候補最終日
 九月二十日(金)選挙立会人届最終日
 九月二十二日(日)不在者投票最終日
 選挙事務日程
 九月十六日(七)選挙期日の告示
 立候補届受付開始、選挙立会人届受付開始、選挙事務所設置届

名物曲線橋完成

待望の朝日橋渡初式



八月二十三日日鉄金沢、岐阜線 朝日地係より石積川横断川合地

村民の声

親の責任は重且つ大

電燈問題をきっかけに何やかやと村内がさわしくなってきた。こうして時に仕事に追われて兎角自己修養や子供の教育が忘れ勝ちになるものである。この際生活を反省し人生を一層意義あらしめることも無駄ではないだろう。

◎親の責任は重且つ大
 昔から親はなくては育つというが、野良犬でも自然に育つに間違いはない。放任して立て派な人間に育つ筈がない。野良犬が行きずりのめす犬の後を追いか

公民館強調目標

今年も台風シーズンが来ましたが、平常より充分な台風対策を立て、被害を最少限度に抑えよう。台風の予備知識を得て置き、お互いに協力し合って気の毒な人の出ない様にしましょう。

稲品種の選定

農業講座

不作が起れば品種が原因であると考え、環境の違った他処から品種を取り寄せて、芳しい成績が出なかつたり、土地にはその土地に適した品種があるわけです。水田は変化が多く、それぞれの品種を栽培すると収量は増加するが品種数が多くなつて混雑になります。

「良い品種が欲しい」と言うことは、誰れでも願っている事ですが、これがもとで時々誤差を起す原因にもなっています。

係へ本村初の照明灯付曲線橋が竣工、その渡初めの式が挙行された。着工三十六年十一月、竣工本年七月完成したものでおらが村自慢の一つとなつたわけ。

総事業費五二、六四八千円(事務費を除く)延長九九米、有効幅員七米、△使用資材、セメント六〇五七、鋼材八三三七、木材七八石、労力一六・七〇〇人、コンクリート三・三六四立米、照明灯(自動六燈)螢光三〇W二個、△施工上部日本PSコンクリートK

更生保護婦人会和泉村支部結成さる

さる八月三日大野地区更生保護婦人会の主旨に基づき、和泉村更生保護婦人会発会式が和泉村役場階上にて開催され、福井保護観察所長を始め大野地区担任伊藤課長、大野地区保護司会長、同更生保護婦人会長、村側は宇野助役、大谷



雨能射放

育苗法の進歩、肥料、新農業などの技術が進んで来て、古い品種よりも、耐肥、多収、耐病の新しい品種が作り出されています。多収と耐病が同時に望ましい。多収と耐病が同時に望ましい。多収と耐病が同時に望ましい。

耐病性
 稲の病気が害虫は多かれ少なかれ発生するが、被害の程度は品種によつて異なります。病害抵抗性は品種によつて異なることも、稲の健康程度によつても左右されます。

耐肥性
 稲の品種には、肥料を多目に施して良いものを耐肥性が強いといひ、少目に施した方が良いものを耐肥性の弱い品種と言つています。富系五十一号、フジノリ、チヨウカイは肥料が或る量より多くなるかえつて減収するし、東北七九

号、ハウネンワセ、北陸十四号は肥料は多目の方が増収する品種になつています。耐肥性が強いといつても、施肥量に限度があつて多過ぎると耐熱が発生するので注意が必要でです。

耐病性
 稲の病気が害虫は多かれ少なかれ発生するが、被害の程度は品種によつて異なります。病害抵抗性は品種によつて異なることも、稲の健康程度によつても左右されます。

同一品種の共同栽培と品種の更新
 努力をばぶき、増収効果を目指し、熟期を同じとする極早生栽培

地帯、普通早生栽培地帯と言ふように、部落で作付地帯を申し合せで、病虫害防除、水管理、収獲などを共同で行うのに便利で、能率の上がる作付計画が望ましい。今年も稲熱病の大発生によつて多額の費用を努力を費やした上に大きな減収が予想されますが、品種による原因も大きいので、今年特に不良であつたような品種は、作付を廃止して、優良品種を取り入れるよう、また優良品種と言つても、年によつて良い悪いの差がありますから、二、三品種の良いものを作るような、品種の更新が必要でです。

主要品種の概要

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂数	倒伏の強弱	イモの強弱	モチの強弱	10アール当り収量kg
ホウネンワセ	8.9	9.10	88.5	20	弱	弱	弱	650
北陸十四号	8.8	9.17	69.0	23	中	強	弱	720
フジノリ	8.13	9.22	81.0	17	中	弱	弱	669
チヨウカイ	8.1	9.10	87.5	19	強	強	弱	699
富系五十一号	8.1	9.12	80.5	14	強	強	強	675

選挙豆辞典

選挙違反の検査は投票日のあとに行うのが今までのやり方の方である。これは検査が特定候補者の利害に重大な影響を及ぼすからである。しかしながら重なる選挙で事前運動は巧妙化し、また投票日が近づくに連れての追い込みをねらう、俗にいう「実弾戦」など目にあまる買収行為が行われる場合が少なくない。最近では取締り当局もこのような悪質事犯に対しては投票日前において事前検査の方針をとつてゐる。

(選挙管理委員会、公明選挙推進協議会)



又陸上に於ては、上大納野野菜子さん一人出場、孤軍奮闘、出場二種目(砲丸と円板)に何れも優勝満場を沸かせた。この成績は六千人足らずの代表の中で和泉村から福井市、敦賀市など数方から選ばれたチームや個人を相手に大奮闘と云えよう。

来るべき団体誘致四年後を前に来年はもっと多く選手を送り、冬期スキー大会以上の成績(総合三位)を納めるよう村民皆さんの御協力を願ひます。

各種団体たより

七月廿一日 村体育協会、青年団共催陸上競技大会、ダム補償基準説明会
 七月廿七日 福田通産大臣歓迎会に村長、村議会議員等出席(大野市)
 七月廿九日(日) 十六ミリ映画機操作技術講習会(十七名合格)
 八月一日(日) 福井大学ユネスコ学校を伊勢分校で開校
 八月三日 更生保護婦人会和泉支部結成式
 八月十二日 ダム水没同志会役員会
 八月十七日 消防団幹部講習会
 八月廿三日 朝日橋渡初式
 八月廿四日(日) 第十五回福井県民体育大会参加

県民体育大会参加を願ひて

八月二十四、二十五、二十六の三日間、大野市、勝山市、福井市三町で開かれた。開会式は大野市有終中学校で行なわれ、本村からはソフトボール、軟式野球及び陸上の三部に出場した。

ソフトボールは第一回戦不戦勝二回戦は敦賀市に勝つた三方郡チームと対戦、10対3五分コールド勝ち、準決勝では鯖江と対戦10対3

荷暮で火災

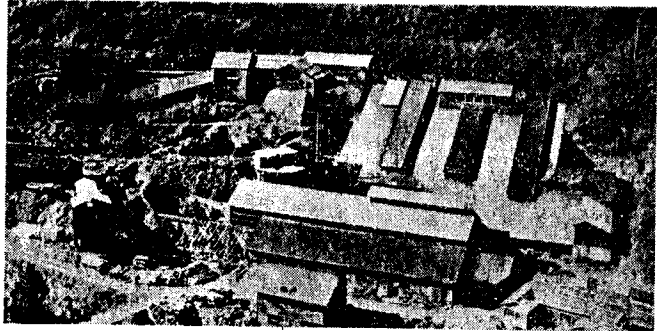
八月二十日午前七時頃荷暮部落に火災が発生し四戸を全焼した。折悪く部落内は仕事に出た後人手も少く、早期消火は困難であつたが、警報に各消防団がいち早く駆けつけ、一般の人々の協力と相



(写真は発会式)

七転び八起きの悲運をこえて

おらが村 中竜鉱山
八月号に記したように、中竜



鉱山は、最初銀の鉱山として発見された、といわれています。明治に入ってから、数度にわたって操業と休山を繰り返して、幾多の試練を経てきました。

三井との関係は、昭和九年八月当時の鉱山主の一人である横濱の中村房二郎氏(松尾鉱山前社長)の依頼で、当時中竜鉱山に勤務されていた現三井金属西協常務以下数名が約二カ月にわたって現地調査をし、その結果にもとづいて、同年末、三分の一出資で日本重鋳社を設立したことに始まります。

季節風

町が養老年金を支給
兵庫県北条町

北条町では今年定例町議会、町民養老年金条例を制定実施している。該当者は二年以上引き続いて同町に住んでいて、数え年八十五歳以上の者となつて、養老年金の額は初年度として一億二千円とし、しかし今後は財政の許す範囲で次第に増額して

熊本三加和村
花嫁と仲人に記念品

農家の嫁の問題は、どこでもその対策に頭を悩ましている様ですが、三加和村では、このほど決めた養老条例の中に「農家に嫁いだ花嫁さんとその仲人を表彰する」という一項を加えて、花嫁さんの

引留めに乗り出すことにしたそうです。町が単独で養老年金を支給しているのは、全国的にも非常に珍らしいのではないかと話題を呼んでいるそうです。

農村の花嫁問題の解決策に、条例まで作つたというのは、全国でも珍らしい試みだと、関心を集めているという事です。農家の嫁キンを解消したいと、あの手ここの手と考へて出来たのが、次のような花嫁養老条例だそうす。

1、農業をしてる青年男女の配偶者となつたもの。同村から他の市町村の農家に嫁いだ場合も含まれる。
2、その媒酌人で、同村に住んで

農家組合長 森田米造(61)さん



10年選手

氏の家号は、甚助さん、という。農業の事なら、甚助さんに聞こうというのが、下半原農家主婦の相言葉である。昭和二十六年に下半原農家組合長になられてから十有五年、もくもくとして六十余戸の農家の世話を

最近化学肥料を各種多量に使う農家、病虫害防除にも多種多様に亘る農薬を必要とする農家、品種の改良に心を注ぐ農家、其他調査統計など仕事は実に多い。これらの発注、受入、配分ばかりでなく、自家田畑に実践して見る研究心も下半原六十余戸の農家の支えとなつていると言つて過言でない。

米造りに一例を取ると、苗代初種の消毒から刈取りまで、施肥は種々の消毒はどうか、稲の様子村でとれる杉はいい杉で、何れも何れも純朴な人達だ。だが、ダムの問題に話を向けると暗い表情になり口が重くなる。新聞などで伊勢、久沢などは孤立

山村では良い方の部類ではないだろう。伊勢では、稲作に努力を傾けすぎるような気がしてならない。一反からとれるものはだいたいの決まっているのだから、これに傾けすぎる努力を他のもの、たと

きた、来年も然りといううな無気力な生活ではいけないと思う。青年が農業を嫌うのは、農業は時間的でないこと、都会生活への憧れだ。この中で時間的でない決まることが一番の問題である。夜八時になつても仕事から帰つて来ないのは驚いた。婦人に聞いても、毎日仕事に明け暮る仕事に追いつまわされて子供の事も充分にかまてやれないと言つていた人が多かった。働らくばかりが能ではないと思う。せめて、子供達の勉強ぐらい見てやれる時間でも見出して然るべきではないか

引留めに乗り出すことにしたそうです。町が単独で養老年金を支給しているのは、全国的にも非常に珍らしいのではないかと話題を呼んでいるそうです。

を村で表彰し、記念品などを贈る。
議会で、この条例の提案に対して、どの様な年齢層を対象とするかと質疑されたが、一般的青年男女の婚姻という事で、満場一致で可決され、この条例がきつたので花嫁議論が盛んになり、良い配偶者を積極的に世話しようというムードが現れてきて、現在まで花嫁六人、仲人七人に褒状と花嫁入りのアルバムが記念品として贈られたそうです。

職員合宿を興つたこの雪害は、一瞬のうちに建物を埋めつくし、崩れ起きたとき生きていたのは所長と看護婦さんだけという有様で、神岡などから来ていた技術者は、すべて犠牲者となつてしまいました。
こうした苦難を経ながらも、中竜鉱山は復興に立ち上り、一年後には生産設備の復旧が完成しました。
その後、昭和十六年一月、三井の持株は六分の五となり、同十九年十一月全株を三井が取得しました。
戦後三年、独占禁止法によって三井鉱山の手ははなれ、独立したのですが、戦後経済界変動の風は冷たく、また休山という事態を招いてしまいました。
そして昭和二十六年十月、三井の援助を得て、八度目の操業を再開したわけです。

伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

大野からバスで三時間、海抜六〇メートルの伊勢を訪れて、当り前の事も知らないが、何と涼しい所だろうとつくづく思った。福井から見れば別天地である。緑の山々、冷たい川の流れる、朝霧のひやりとする感じは何とも言えない。それを化子、右衛門の事、伝説祖先のことなどの話を聞いて、何故か、昔の人に逢えたような気がして、あわただしい現今にあつて心のやすらぎを得たように思える。「この村は日本でも一二の古い村で、お宮さんには、六人抱えする大きな杉があるんじやがア見にいきなすつたか」「この

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事
伊勢に行つて感じた事

囲碁選手権大会

八月十六日大谷で村公民館主催の第一回和泉村囲碁選手権大会が開かれた。お盆の折から、参加は村全域とは行かなかつたが、それでも廿こそと二十数人が集り熱戦を交えた。成績次の通り
第一回和泉村囲碁選手権大会
優勝 森永 進三級(大谷)
二位 池尾 長久六級(大谷)
三位 池田庄次郎二段(大谷)
四位 野村 秀雄初段(池島)
五位 田中 美好二級(持穴)

レクリエーションとは

健全なレクリエーションの目的は生活の中に明かるい希望と楽しみをもたせ、よりよくはたらくために健全な心身のコンディションをとるのえながら、
豊かな人間性
を作りあげていくことにあります。生きがいのある人生、それは時間と労力と経費のムダをはぶき自分にもっとも適したレクリエーションを生活の中にとり入れて楽しい職場、温い家庭、血のかよいあう人間関係の中にくらすことではないでしょうか。

レクリエーションは

私たちの毎日の生活は職場で機械を相手にし、自然の草木等を相手に汗をながし、デスクの上で書類ととりくみ、或は会議、交渉等で頭をつかうなど単一な業務をくりかえして行きます。そうした生活の中で見えない疲労と倦怠が積み重なり、その結果能率を低下させ安全がおびやかされてくるのです。緊張をときほぐし、しばらくの時間を休んでからだを動かし、顔をほころばせ、歌を口ずさむことは、気分転換となつて新鮮な作業意欲を高めてくれるものであります。

かじか

お盆に旧面谷鉱山を「故郷」とする一行「面谷を偲ぶ会」の方々百四十名余りが墓参に見えられた折同行したが故郷を偲ぶと言言葉が本当にせつ実である事を目のあたり痛感せられた。
夏草や芝木の生い茂つた中に立ちならぶ数十の墓、台風、雪等に荒果て、又草の中に探さねばわからない道、眼を上げればカツ色に木も生えない岩肌、その裾に崩れ落ちた選鉱事務所等の石垣、としてる屋敷跡等、エゾチツクな廃墟、故郷としての風影には余りにもわびしい舞臺装置が整いつて行けるかも知れない。
一行には十二、三歳まで面谷にいたと言われる七十歳近いお婆さん数人が、谷底へ落ちそうなる山道を汗をふき、思い出を語りながら加つておられ、墓のまわりの掃除をし葉をすませ、やがて昼飯になると三々五々芝や草の茂の中に入つて行かれるので、日陰を探して腰を下ろされるのかと思つていたらさうでなく、自分達の家のあつた屋敷を探しておられ、昔の隣人と草の茂み越に言葉交しなから飯をたべていられた。



写真：再開当時の選鉱工場(日産百五十トン処理)

人のうらみ

【出生】
長谷川敦子 智長女
中森千恵子 利久長女
宮原 昌直 敬司長男
大町 順子 伊太郎次女

【死亡】
東市布 宮下市太郎 五二歳
大谷 若山 功作 五八歳
小谷堂 山崎 きく 七八歳
後野 山崎 きぬ 八〇歳
大谷 山田 幸太 四一歳

小さな時に東京、長野、福井等に行かれたのに言葉は穴馬弁と少しも変つていない。故郷と言ふものは人間になんと大きな力を持つている事だろう。
和泉村にもやがては此の人達以上に故郷を失う人々が増えるかも知れない。故郷が、故郷を捨てた人の感傷のために何時迄も古い姿を残してはくれない等と言わず、故郷の歴史や風俗を残すことは素朴な人間としての問題ではないだろうか。